

授業参観と夏休み作品展を実施

H22.9 / 9 (木)



6年生は社会の授業で、江戸幕府の勉強をしています。「参勤交代は、どんな目的で行われていたと思いますか」という問いかけ等をしているのでしょうか。

新聞記事を素材にしたの国語の学習です。報道内容を6年生なりに捉えて、解釈したり、分析したり、「自分ならこうする」と表現を工夫したりしています。読解力をつけることをねらいにしています。



算数は少人数に分けて学習したり、左のようにTT授業にしたりします。2人の担当の息があうと、2倍以上の学習効果が期待できます。



子どもたちは、自分の考えに自信があるほどに発表を進んで行きます。学級のものに理解してもらえると、更に学習意欲と表現欲求が高まっていくものです。保護者の前で、そんな自分を出すことが出来ると喜びも2倍です。





低学年も算数は、少人数やTTによる学習です。一人一人の課題やつまずきに対応できるのがメリットです。

各学級の背面黑板には、子どもたちの夏休み作品が掲示されています。自分の調べてみたいテーマについての作品には、それぞれに思い入れがあるので、完成度も高いと思っています。



1年生の音楽は、鍵盤ハーモニカを使っての学習です。一つの曲をマスターできると、もう気分は音楽家です。



粘土は可塑性に富み、子どもたちのイメージや発想を豊かにさせる魅力があります。表情からは、芸術家のような追求者の雰囲気を感じます。





3年生には、教育実習の先生もついています。大学生は憧れの存在でもあり、お姉さんのような親近感もあり、いろいろな意味で子どもたちにとっては刺激になっています。

算数の学習ノートの特徴は、「自分の考え」を書く枠が、必ずもうけられています。根拠を持って問題に関する考えをつくり、自分の言葉で表現する力をつけるのがねらいです。

